

SAKASO

〔さかそう〕



特集 先生に聞いてみよう
地域のリハビリ医療
のこと。



2019.10 Vol.38

おしらせ

「坂総合病院市民公開講座」を開催します

テーマ 緑内障と糖尿病

今回は東北大学医学部眼科学教室より講師を迎える、視神経の障害により視野が狭くなる疾患「緑内障」と、視力を失った人へ新しい角膜の提供を斡旋する機関「アイバンク」について講演します。あわせて当院糖尿病代謝科医師による講演も行います。奮ってご参加ください。

- 日時:2019年10月12日(土)14:00~16:30
- 場所:石田沢防災センター
(宮城郡松島町松島石田沢12-2)
- 参加費:無料(事前申し込み不要)
- 問合せ:坂総合病院 022-365-5175(代)



診療予約・変更・お問合せ

まずはコールセンターへお電話いただき
ご確認をお願いいたします。

コールセンター 022-361-8288

●平日 8:30~16:30(小児科のみ8:00~)

●土曜 8:30~11:30(小児科のみ8:00~)

※日曜・祝祭日、年末年始(12/30~翌年1/3)、8/16(お盆)は休業。

◎紹介状をお持ちの方は、必ずその旨をお伝えください。

◎上記時間以外で救急診療のお問合せは、病院代表番号
(022-365-5175)にお電話をお願いします。

詳細はwebサイトでもご確認いただけます。

坂病院 <https://www.m-kousei.com/saka/>



電車の場合 ▶ JR仙石線・下馬駅下車。駅前が当病院です。

お車の場合 ▶ 第三駐車場は、当院ご利用の方は無料です。
第三駐車場と病院間の送迎バスを運行しています。

表紙について

走ることが好きだという藤原先生。近頃は多忙でトレーニングもご無沙汰だそうですが、「この撮影をきっかけにまた走ろうかな(笑)」と話してくれました。

●表紙撮影/宮城県総合運動公園

SAKASO

坂総合病院 広報誌[さかそう]
2019年10月1日発行

S 坂総合病院

〒985-8506 宮城県塩釜市錦町16-5 <https://www.m-kousei.com/saka/>
【広報誌に関するお問い合わせ】Tel 022-365-5175(代)



毎回特集内容を変え、
病気や病院のあれこれを発信。
今回は、「リハビリ医療」について
ご紹介します。

特集

先生に
聞いてみよう

地域の リハビリ医療 のこと。



藤原 大 (ふじわら だい)

秋田県出身。東北大学卒業後、坂総合病院に入職。「ひとつの場所にどまることなく、地域のためのケアに関わりたい」と、統括的なケアができるリハビリ医を志す。病院内での治療だけでなく在宅往診にも携わり、患者さんの生活を全面的にサポートしている。

塩釜市を中心に地域の
医療を支える坂総合病院。
適切な治療と高度な技術で
人々を支えています。
リハビリ科の役割について
地域の中で頼られる
高齢化が進む中、
藤原大先生に聞きました。

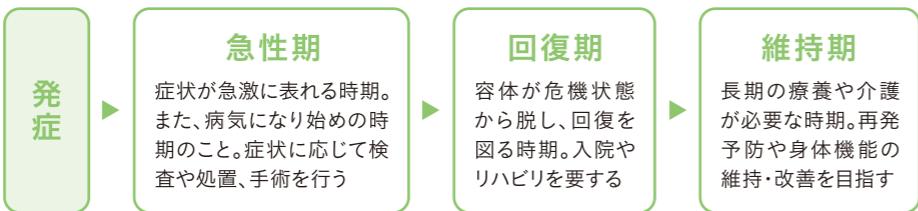


Q 「回復期リハビリテーション病棟」とはどんな病棟ですか?

病状が安定し始めた頃から集中的なリハビリを受けられる病棟です。医師や看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ソーシャルワーカーなどが連携し、身体機能や日常生活に必要な動作を具体的に改善。患者さんが社会・地域へ復帰できるようケアをします。

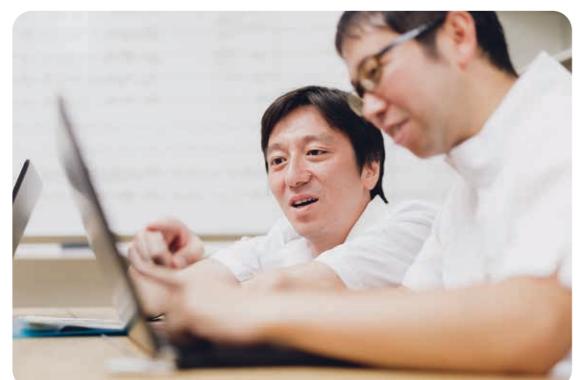
Q 「急性期」や「回復期」とはどんな期間のことを指すのですか?

リハビリは主に、急性期・回復期・維持期の順を追います。その典型が脳卒中で、最初の発症・治療期間を「急性期」、発症から3~6ヶ月を「回復期」、機能や改善が横ばいになり障害が固定した状態を「維持期」と呼びます。



チーム体制で向き合う 一貫したリハビリ医療

当院のリハビリ科は急性期から維持期まで一貫して対応できること、そして訪問診療などを含む地域リハビリや、他の病院では手術が難しいと言われた高齢者に対して手術とリハビリの両輪でケアできることが特徴です。呼吸器系の疾患の場合にはリハビリも含めた教育入院も受け入れており、患者さんが体の機能だけでなく生活機能も落とすことのないようサポートしています。そんなことができるのも、チーム体制をとつてあらゆる疾患と向き合っているからこそ。その中でリハビリ医は、統括したり指示を出したりするだけでなく、患者さんの目標をどこに定めるかをスタッフと一緒に悩むことも役割のひとつです。



病棟」があります。そのため、リハビリを待つ患者さんのためだけではなく、より専門的な治療を期待する他の急性期病院の思いにも応えたいと思っています。高齢化社会の昨今、どうしても病気になることは避けられません。それでも坂総合病院なら病気をしても地域の生活に戻ることができます。地域の生活に戻ることができることだと思っていきたい。そして常に患者さんの体の機能と生活の両面をサポートし続けられるリハビリ科でありたいと思います。

当院には専門医の手がなければ管理が難しい障害を持つ方へ向けた「回復期リハビリテーション

「地域の生活に戻る」
その思いが叶う病院に

菅野 俊一郎 (かの しゅんいちろう)

リハビリ室 作業療法士

訪問リハビリの紹介

主な支援内容

- 日常動作練習や福祉用具、住宅改修の提案
- 家族への介護指導
- 運動機能向上運動や体力向上運動、調理、掃除
- 裁縫など、セルフケア以外のリハビリ
- 言語聴覚士訪問による言語機能や嚥下機能向上練習

坂総合病院の訪問リハビリは2006年に設置されました。訪問看護ステーションでもリハビリを行なっていたセラピスト2名からスタートし、現在は理学療法士2名、作業療法士2名、言語聴覚士1名でサービスを提供しています。

当院の訪問リハビリの特徴は、言語聴覚士が常勤していること。食事の際の飲み込みや失語症・構音障害などで家族や他者とのコミュニケーションで不安がある方は少なくないため、常に利用者の皆さんに安心してもらえるよう、言語聴覚士がサポートできる体制をとっています。利用について気になった方は医療相談員やリハビリセラピストに声をかけてみてください。今後も地域や他職種と連携し、患者さんの安心・安全な暮らしに貢献していくたいと思います。

栄養手帖 ■ -食養室だより-

お米のチカラ、再発見！

日本人の食生活に不可欠なお米。味わい良く、栄養学的にも優れた食品です。

おいしさ

食事の主体となる主食は、毎食でも飽きることなくおいしく食べられることが大前提！お米はこの条件を満たした理想の食品といえます。

豊かな栄養価

ビタミンやミネラルも含み、良質なたんぱく質が豊富なお米は効率の良いエネルギー源となります。消化吸収率が98%と高いのも特徴です。

供給の安定性

お米は穀類の中で唯一90%を超える自給率を誇ります（2017年農林水産省試算）。安定した供給が日本人に“命の宝”をもたらします。

丹治 歩美 (たんじ あゆみ)
食養室 管理栄養士

お米ってこんなにすごい！

健康的に食べる3つのポイント

- ① 塩辛いおかずは控えよう
- ② 主菜には肉、魚、卵、大豆製品を忘れずに！
- ③ 季節の野菜は副菜でたっぷりと



支えるひとたち

第10回
6F病棟

坂総合病院を、そして患者さんを支える人々。その「人となり」に迫ります。

「皮膚・排泄ケア認定看護師の資格を取得した外科病棟の看護師から、ストーマケアや創傷処置などを実践で教わりました。専門的知識を持つことの大切さがこの仕事を目指すきっかけです」と振り返る野村さん。ストーマとは人工肛門のこと。今ではストーマ全般のケアだけでなく褥瘡回診や排尿ケアカンファレンスなどを行い、特に外科医師とともに排尿ケアに従事するなど患者さんのクオリティ・オブ・ライフ（生活の質）の向上を目指すチームの中心的存在です。「ケアを通して患者さんが抱える問題が改善されたりストーマ管理の安定化が図れたりと、喜びの声を聞くとうれしくなりますね。今後もすべての患者さんに最善のケアが提供できるよう研鑽を積みたいです」と教えてくれました。仕事へのひたむきな姿勢が、今日も患者さんの喜びへとつながります。

次号は

阿部 育実
(認知症看護認定看護師)

ストーマを測るノギスや残尿を調べるエコー、ストーマを作った際にお腹の平面を探るディスクなど、これらの道具は野村さんの大切な相棒です。

野村 主弥 (のむら かずや)
皮膚・排泄ケア認定看護師

今野 伸康 (こんの のぶやす)
生理検査室 臨床検査技師

臨床検査技師の仕事は採血や採尿などの検体を検査する「検査室」と心電図やエコーなどを調べる「生理検査」の二つに分けられます。しかし、今は「生理検査室」を紹介します。検査は循環器検査、体の構造・状態を把握する各種エコー検査や呼吸機能検査、脳波・神経・筋電図検査などの電気生理学的検査と幅広く、心臓リハビリテーションと連携した心肺運動負荷試験



循環器検査、体の構造・状態を把握する各種エコー検査や呼吸機能検査、脳波・神経・筋電図検査などの電気生理学的検査と幅広く、心臓リハビリテーションと連携した心肺運動負荷試験

（CPX）も行っています。心臓の手術後や心筋梗塞・心不全の患者さんは、治療過程で安静な生活を続けたことで心臓の働きだけでなく運動能力やその働きも低下してしまいます。その中で行うリハビリは、負荷がかかり過ぎず安全でゆっくり長く続けられる強度の運動が有効と言われており、CPXはその負荷強度を決めるために行います。実際にはリハビリセラピストが負荷強度を決め、検査スタッフが心電図や血圧などの身体活動を監視しながら検査します。また、安全上、医師も立ち会います。

病院で検査を受ける時、多くの人がどんな検査をされるのだろうか、痛くないか、と不安になります。生理検査室ではそんな気持ちに寄り添い、安心して検査を受けられる場所を目指します。検査に際して不安などあれば気軽にお声掛けください。

神経内科と眼科の一本柱で地域を支える

当院は神経内科専門医である私と眼科専門医の妻、そして13名の医療スタッフで診療にあたっています。神経内科は神経・筋疾患を中心診療いますが、眼科も併診していることから複視・視野障害などの神経眼科的疾患も多く診察しており、眼瞼痙攣や片側顔面痙攣などの顔面不随意運動疾患に対しボツリヌス治療を行っています。眼科では視力、眼底の一般検査、視野検査、レーザー治療、コンタクトレンズの処方などを行います。

私は塩釜出身ですが、研修時も含め県外で過ごしました。そ

れ故、開院当初は周辺や県内の医療状況が分からず右往左往していましたが、坂総合病院とは完全病室ブロックに伴うアダムス・ストーカス発作の患者を緊急対応してもらつて以降のお付き合いです。プライマリ・ケア診療の難しさから診断が困難な方、頭蓋内疾患を扱う診療科の特徴から緊急处置を依頼したい方、白内障手術など当院眼科では対応が困難な方への対応ではすべての科の大変多く、難しい症状の場合は神経内科の先生の診察が決め手になります。当院は神経系の医師体制が十分ではないため、今後も互いを補いながら地域医療を支えていきたいです。

坂総合病院から

「宮町脳神経・眼科クリニック」はこの地域には少ない脳神経系のクリニックです。救急医療では頭痛やめまい、しづれなど神経系の症状は大変多く、難しい症状の場合は神経内科の先生の診察が決め手になります。当院は神経系の医師体制が十分ではないため、今後も互いを補いながら地域医療を支えていきたいです。



神経内科
杉山 泰二 先生 (すぎやま やすじ)
※写真後列中央
眼科
杉山 真由美 先生 (すぎやま まゆみ)
※写真後列左から2番目



神経内科・眼科
宮町脳神経・眼科クリニック

〒985-0051
宮城県塩竈市宮町8-15
TEL 022-362-2121

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00 - 12:00	○	○	○	○	○	○	○
14:00 - 18:00	○	○	/	○	○	/	/

◎土曜の診療時間は9:00~13:00
※受付は診療終了の30分前まで
休診日／日曜、祝日

